報道関係各位

2019年8月8日

NEWS RELEASE【書籍のご案内】

あさ出版

モビリティ革命を、生活者の視点で捉えなおす！

自動車（クルマ）が家電になる日

～2030年-これ1冊で「モビリティ革命」の全容がわかる！～

2019年8月23日（金）発刊

株式会社あさ出版（代表取締役：佐藤和夫、所在地：東京都豊島区）は、鈴木 誠二 著『**自動車が家電になる日～2030年-これ1冊で「モビリティ革命」の全容がわかる！～**』を2019年8月23日（金）に刊行いたします。

クルマが、冷蔵蔵やエアコンのような“家電”となる時代

クルマが、モーターで駆動する「電気製品」となると同時に、冷蔵蔵やエアコンのような「汎用品」となる時代を迎えようとしています。

「完全自動運転で、道中は本当に豊かになるのか」
「無人コミュニティバスを巡回させれば、過疎地域は活性化するのか」
「交通渋滞がなくなれば、家族での遠出はもっと増えるのか」

本書で、「生活者」の視点でモビリティ革命を捉えなおし、次世代自動車ビジネスのチャンスを提言します。

モビリティ革命のキーワード

CASE・・・コネクテッド(Connected)、自動運転(Autonomous)、シェアリング(Shared & Service)、電動化(Electric)
MaaS・・・Mobility as a Serviceの略。交通手段をマイカーなどの「モノ」ではなく、「サービス」として提供。
CARS・・・つなげる(Connect)、自動化(Automation)、繰り返す(Repeat) サービスの分配(Share & Service)

書籍名：自動車（クルマ）が家電になる日～2030年-これ1冊で「モビリティ革命」の全容がわかる！～

刊行日　：2019年8月23日（金）**価格**：1728円（税込）
ページ数：240ページ　**著者名**：鈴木 誠二（すずき・せいじ）
ＩＳＢＮ：978-4-86667-108-6

【目次】

はじめに
プロローグ　2030年、私たちの自動車生活はどうなっている？
　一足先に近未来をバーチャル体験してみよう
第1章　クルマ社会が、いつのまにか激変している！
第2章　「クルマの歴史」から未来を読む
第3章　生活者の目線で見る「モビリティ革命」
第4章　次世代自動車ビジネスのロールモデルとは
緊急討論　いまこそ、潜在ニーズ発掘のチャンス！
本書に寄せて　ポスト・グローバリゼーションの時代を切り拓く

【著者プロフィール】鈴木 誠二（すずき・せいじ）

法政大学大学院 政策創造研究科 博士後期課程満了。法政大学地域研究センター客員研究員、東京成徳大学経営学部講師。業界の変革期に直面した事業会社において、研究活動と連動したさまざまな事業開発経験を有する。現在は、担い手教育に勤しみながら、コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）に所属し、次世代ユーティリティの発展に取り組んでいる。

書評・著者インタビュー等のご検討をいただければ幸いです。情報掲載、画像提供の問い合わせ

古垣（フルガキ）TEL：03-3983-3225　090-4424-6911　furugaki@asa21.com
株式会社あさ出版　東京都豊島区南池袋2-9-9 第一池袋ホワイトビル6階